

音更町道の駅整備事業 審査結果及び講評

音更町道の駅整備事業者審査委員会

第1 審査の経過等

1 審査の経過

音更町道の駅整備事業者審査委員会（以下「審査委員会」という。）では、音更町道の駅整備事業における実施事業者の選定について、次のような経過で審査を行った。

区分	日時	内容
第1回審査委員会	平成30年12月20日	委員長の互選、職務代理の指名 審査基準の決定
第2回審査委員会	令和元年5月14日・15日	企画提案書に係る基礎審査結果報告 プレゼンテーション及びヒアリングの実施 提案内容の審査 審査結果の確認、附帯意見の整理

2 参加意思表明書及び企画提案書を提出したグループの数

平成30年12月25日に本事業に係る募集要項等を公表し、参加意思表明書受付期限を平成31年2月1日、企画提案書受付期限を平成31年4月25日として受け付けした結果、4グループから参加意思表明書及び企画提案書の提出があった。

第2 審査結果

1 参加資格審査（事務局による審査）

応募4グループの参加資格について、参加意思表明書により審査を行い、4グループともに募集要項に規定する参加資格を満たしていることを確認し、平成31年2月8日、応募4グループに対して審査結果を通知した。

2 企画提案審査

（1）基礎審査（事務局による審査）

応募4グループからの企画提案について、企画提案書により審査を行い、4グループともに募集要項及び要求水準書に規定する条件等を満たしていることを確認し、令和元年5月7日、応募4グループに対して審査結果を通知した。

（2）プレゼンテーション及びヒアリングによる企画提案内容に係る審査

ア 企画提案内容の審査方法

審査委員会は、令和元年5月14日、応募4グループによるプレゼンテーション及び審査委員によるヒアリングを実施し、翌15日には以下の審査事項に基づいて審査を行い、評価ランクを選択して採点した。

【企画提案内容の審査事項及び配点】

審査事項	配点
事業計画に関する事項 全体方針、実施体制、地域貢献、集客方策、収支計画（収益部分）等	60
設計・建設・工事監理業務に関する事項 施設構成、土地利用、外観・デザイン、環境配慮等	40
運營業務に関する事項 運営計画、防災拠点としての配慮、情報提供の工夫等	50
維持管理業務に関する事項 維持管理計画、収支計画（収益部分以外）等	20
提案価格に関する事項 建築工事に係る提案価格	30
合 計	200

【評価ランク及び得点】

評価ランク	評価内容	得点
A	提案内容が特に優れている	配点×1.00
B	AとCの間	配点×0.75
C	提案内容が適切である（標準）	配点×0.50
D	CとEの間	配点×0.25
E	特に評価できる点がない	配点×0.00

イ 審査結果

審査事項ごとの配点に評価ランクに応じた率を乗じて得た点数（小数点第2位まで求める。）を各審査委員の採点とし、8名の委員全員の採点を合算した点数の最も高い応募グループを実施事業者として選定するとともに応募者の順位付けを行った。

区 分	配点	ヴェスタ おとふけ グループ	A グループ	B グループ	C グループ
A 委員	200	136.25	134.79	111.07	116.09
B 委員	200	141.25	123.54	119.82	124.84
C 委員	200	172.50	146.04	142.32	151.09
D 委員	200	126.25	144.79	124.82	83.59
E 委員	200	166.25	113.54	118.57	114.84
F 委員	200	126.25	91.04	116.07	108.59
G 委員	200	115.00	79.79	98.57	97.34
H 委員	200	166.25	169.79	157.32	153.59
合 計	1,600	1,150.00	1,003.32	988.56	949.97
順 位	—	1	2	3	4

※ 実施事業者以外は、順位が上位のグループから順にAグループ、Bグループ、Cグループとした。

ウ 実施事業者

グループ名	ヴェスタおとふけグループ
代表事業者	株式会社オカモト
構成事業者	宮坂建設工業株式会社 村上土建開発工業株式会社 株式会社ジオックス 鈴蘭ビルサービス株式会社 株式会社アトリエブシク 株式会社プティベール

第3 審査結果の総評

応募4グループの提案は、いずれも事業の目的や主旨を十分に踏まえ、町の要求水準を満たし、設計・建設・工事監理・運営・維持管理の各段階において事業者の有するノウハウを活かした魅力的な提案であった。応募者各位には心より感謝を申し上げる。

なお、実施事業者として選定したヴェスタおとふけグループは、以下のような点が高く評価された。

- ① 町民が集いやすい運営方針であることや大小のイベントを数多く開催し、年間を通じて人を呼び込むことが期待できること。
- ② 農畜産物等直売コーナーで冬期間、十勝の海産物を取扱うなど、地元の産物により年間を通じた集客の取組みに期待できること。
- ③ 施設に入る際に全体を見渡せ、構造がシンプルで、利用者動線がわかりやすいこと。
- ④ 施設内の冷暖房や給湯に関して雪氷熱や太陽熱などの自然エネルギーの積極的活用による環境への配慮が見受けられること。
- ⑤ 隣接する民間施設のデザインや周辺景観を意識するなど周囲との調和に配慮されていること。
- ⑥ グループ内での定期的な会合や視察調査の実施など、本事業に関するグループ内の考え方の共有等について、積極的な姿勢が見受けられること。

また、選定に至らなかった3グループの提案についても、各種事業の取組みの実現性の担保として関心表明事業者を数多く確保する、また、特徴的なトイレ、外構等のデザインが示されるなどの点が高く評価されたところである。

なお、本事業は、重点道の駅候補として選定されるなど、地域活性化拠点形成への期待が非常に大きいものであることから、本事業がより良いものとなるよう、町と実施事業者間で十分協議していただくよう審査委員会として以下の点について要望する。

- ①人を大切とする道の駅づくり
 - ・ユニバーサルデザインに十分配慮すること
 - ・スタッフの働きやすい仕組みづくりに配慮すること

②利用しやすい道の駅づくり

- ・24時間トイレへの施設内からの利用動線について配慮すること
- ・中庭広場の魅力向上に配慮すること
- ・道路利用者が気軽に休憩できるような空間構成に配慮すること
- ・一般国道241号側の出入について道路交通の安全性に十分配慮すること
- ・イベントの実施に当たっては、道路利用者の休憩利用に配慮すること

③その他

- ・集客増の取組など、持続的・安定的な事業展開に配慮すること

審査委員会としては、以上の審査結果を踏まえ、町と実施事業者が連携して本事業の確実な実現に取り組むことを強く期待するものである。

最後に応募4グループの関係各位に改めて敬意を表し、併せて今後より一層のご活躍を祈念申し上げます。

令和元年6月

音更町道の駅整備事業者審査委員会
委員長 仙北谷 康

○ 音更町道の駅整備事業者審査委員会 委員（敬称略）

委員長：仙北谷 康 職務代理：吉田 眞弓

委員：木本 晃、津久井 寛、照井 直樹、東端 恭子、並松 由克、沼田 智恵

（委員は五十音順）